



令和6年度「魚つかみ楽しみ隊」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和6年7月6日(土)

2 日程

午前の部	午後の部	7月6日(土)
9:30	9:30	受付開始
10:00	10:00	出会いのつどい(つどいの広場)
10:15	10:15	魚つかみ(河川プール)
11:00	11:00	魚を焼いて食べる(つどいの広場)
11:45	11:45	片づけ・感想記入
12:00	12:00	解散



3 ねらい

・魚つかみを行うことで大自然を満喫するとともに家族の親睦を深める。

4 対象 家族および一般 ※午前・午後各16組

5 応募者数 399名(午前68組244名、午後43組155名)

6 参加者数 午前16組 59名 午後15組 54名 学生サポーター11名
計31組 113名

II 実施状況

本主催事業は、例年参加者の皆さんに好評をいただいている企画である。当初は6月22日(土)の開催を予定していたが、雨の影響で7月6日(土)に延期となった。7月に入って数日は雨の日もあったが、前日までには河川プールの水深もちょうどよい深さとなり、当日の雨の心配もなくなり、活動が安全に実施できる条件が整ったため、無事に開催することとなった。



当日は、気温30度を上回る真夏日であった。熱中症のおそれもあったため、急遽レクリエーションホールを開放する、また、気温がさらに上がってきた午後の部では出会いのつどいを館内に変更するといった対応をした。

活動時間中は、例年通り河川プールを網で半分に仕切って範囲を狭くするとともに、終盤には追い込み用の網を使って範囲をさらに狭めることで、魚をつかまえやすいようにした。参加者のみなさんには、無事に魚をつかまえてもらうことができた。午前の部終了後にも新たな魚を仕入れ、午後参加される方のために補充を行ったので、午前・午後でつかまえる魚の量の差はなかった。

次に、つかまえた魚をバケツに入れてつどいの広場に戻り、魚を調理していただいた。BBQコンロ

と調理台をグループごとに1台ずつ準備し、その場で竹串を通し、塩を振って焼いてもらった。魚に竹串を通す際に事故がないよう、指導員や学生サポーターで見守りや補助を行い、安全に活動を行ってもらうことができた。その後、設置したテントの中で夏の自然を満喫しながら焼いた魚を食べてもらうことができた。

本主催事業は、自然体験と家族同士のふれあいを楽しむことのできる大変貴重な機会である。広報を通じて評判が広まっているようで、回を追うごとに応募者数が増えている。今後も発信を続け、この事業にもっと多くの方に参加していただけるように継続していきたい。

Ⅲ 総括

1 参加者の感想(抜粋)

- ・ 天候が心配でしたが、暑いくらいで天気にも恵まれ、魚つかみが子どもも初めての体験ができ、つかむのが難しいけど楽しかったようです。また参加したいです。(大人)
- ・ たくさんの応募の中、当選でき、楽しい活動をする事ができました。魚を素手でつかむ体験はなかなかできないので、楽しかったです。内臓つきの魚を食べる経験がないので、「苦い」という感想をもつことができました。学生さんもいて、子どもは親しみやすく、親子とも楽しんで参加することができました。(大人)
- ・ 家では魚を食べない子どもが喜んで食べていました!素敵な機会をありがとうございました。(大人)
- ・ 魚が速くて、つかむのはむずかしかったです。6ぴきつかまえました。うれしかったです。身がふわふわしていました。(子ども)



2 成果

- ・ 参加者の方に活動を楽しんでいただくことができた。
- ・ 当日の暑さに対応して屋内を開放したのは適切だった。
- ・ 学生サポーターが、活動の補助や参加者との関わりなどで活躍してくれた。



3 課題

- ・ 消耗品が足りなくなり、午後の部の前に職員が調達することになった。
- ・ 暑い中での開催となったため、熱中症対策が必要だった。特に、火起こし担当の職員は過酷な状況での業務だった。
- ・ 軍手を忘れた参加者への対応が必要である。

